



第292号

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会

編集●広報委員会

福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大通ビルディング3F

TEL●092-482-7770 (代)

ホームページ●<http://www.greencoop-fukuoka.jp>

9月号



デジタル版
バックナンバー

グリーン・ウェーブ

GREEN
WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

今月号の主な内容

第25期通常総代会…………… 2・3

産直たまご…………… 4・5

びん牛乳deアレンジおすすめ商品 6

福祉活動組合員基金…………… 8

※GREEN WAVEに記載している商品情報は
7月31日現在のものです(金額は個配価格)

次回発行日は9月29日です。

つどいで聞かせて♪ あなたの声

秋の組合員のつどいが始まります。
開催期間は9月～11月1日です。
つどいでは暮らしの中で日頃気になることや、グリーンコープの商品・運動のことなど、地域で暮らす組合員同士が出会い、語り合います。
ぜひ、お友達を誘いあって参加してくださいね!



●いとしま西地域委員会
試食は地域委員おすすめやつ
(パイキング方式)



●宇美・志免地域委員会
みんなで作った米粉のスコーン



●小倉南・西地域委員会
豆乳料理会を開催しました



写真は昨年度の様子です



●東区みなみ地域委員会
(株)庄分酢のこだわりを聞きました



●小倉南・中央地域委員会
冷凍炒飯やスープ、お菓子など
食べくらべをしました



●さくら東地域委員会
食育ワーカーstenを迎えて
料理教室

2024年度参加者の声

さまざまな世代の方と交流ができて良かったです



毎年参加していますが、カタログを見ながらおすすめ商品を紹介し合えるのが楽しいです



食べくらべなど商品を試すことができたり、お気に入りの商品を見つけられました



ワークショップをしながら会話が弾みました



つどいとは…

グリーンコープは「生活協同組合」です。
組合員が「出資・利用・運営(三原則)」をしています。つどいは「運営」のひとつとして、毎年秋に開催しています。安心・安全な暮らしの実現にむけて、組合員の思いを出し合う場です。



つどいレポート

三原則のひとつである「運営」の一部にあたります。組合員の意見がグリーンコープをつくります。商品に関すること、グリーンコープの活動に関することなど、ご意見を記入し提出ください。「つどいレポート」はカタログと一緒に届きます。

おまつりのお知らせ

10/26 (日) 北九州地域

『グリーンフェスタ
in北九州2025』

<会場>
西日本総合展示場

11/2 (日) ふくおか
理事会

『グランマルシェ
in照葉』

<会場>
福岡アイランドシティ
フォーラム

11/29 (土) 中部地域

『グリーン
アドベンチャーパーク』

<会場>
宗像ユリックス

※詳しくは、後日発行のチラシやグリーンコープ生協ふくおか公式Instagramなどをご覧ください

第25期 通常総代会

牛乳について

【総代B】阿蘇の生産者が断られた状況が、あまり理解できなかった。酪農家とのつながりをもっと大切にするためにどうしたらいいかということも含めて、ご回答いただきたい。

A 坂本理事長

メーカーからびん牛乳製造終了の連絡があったとき、牛乳をグリーンコープからなくしてしまうのか、もしくは別のところで牛乳を作っていくのかを考えた。私は牛乳は残してほしいと思った。他のメーカーも探したが見つからない。最終的にグリーンコープで牛乳工場を作ろうとなった。菊池の生産者は、指定団体に販売を委託する制度なので、生産者からメーカーが直接生乳を買う。私たちが生乳の価格を知るなどの仕組みがない。九州生乳販連や県酪連などが入らないと動かないという仕組みがあり、それがあつて、交流をして産直と言いつつも本



当の産直関係ではなかった。産直関係をもっときちんと結べないかと、ずっと動いていたがなかなかできず、最終的に牛乳を新しくすることに決まったときに、菊池の生産者にも「生産者の関係をグリーンコープが望む、本当に生産者というんなことが話し合える関係にしたい」とお伝えしたが、生産者からお断りをされた。今の牛乳のシステムは、生乳販連などが入ることによって生産者が守られている。それを抜けてまでグリーンコープと産直関係をするのは難しいと言われたのは生産者だ。連合会の理事で何回か生産者に会い、またオンラインでつないで「組合員は菊池の生産者の牛乳が飲みたい。どうにかしていただけないか」と話しましたが「組合員の気持ちはわかる。でも自分たちは自分たちを守らなきゃいけないから、その仕組みからは抜けられない」と言われた。それを「私たちは牛乳が飲みたいから抜けてください」とは言えない。生産者は生産者で考えられておりそれを尊重しなければならないので、もうこれ以上お願いするのはやめよう、きちんとお礼を言いお別れしましょうということを決めている。新しい牛乳に関わってくださる下郷の方は、生産者と組合員、グリーンコープが直接会話できる関係にある。新しい牛乳に関わっていただき、耶馬溪ファームの生産者となる。決して菊池の生産者との関係を適当にしたわけではなく、グリーンコープは他の生産者も青果や畜産も、過去も今からも一番大切にしている。それは決して変わらずにこれからもしていきたいと思う。

【総代F】パスチャライズ牛乳を産地指定なしで作っているところはあるのか。どこの農場で作っているのか教えていただきたい。子どもの健康に良いものをあげたいというのが協協の役割だ。

A 西岡専務

産地指定ではないパスチャライズ殺菌の牛乳はあると思うが、詳細は把握していない。

【総代F】先日ある組合員事務局の方に聞くと、牛乳は自分の子どもには飲ませていないということだった。不安があつて自分の子どもに飲ませていないようなものを、生協はよその子どもなら飲んでいいと思って売っているのか。

A 坂本理事長

その方はびん牛乳と耶馬溪牛乳を選んで飲んでいと聞いた。私はどちらも子どもにも飲ませている。そもそも牛乳を飲みたい方、お子さんには牛乳を飲ませてない方もいると思うので、そこは個人の判断で強制することではないと思う。自分が不安で飲ませていないものを生協は他の子どもだったらいいと思って売っているのか？言われたが、理事全員が飲みたいくない、飲ませたくないと思うのであれば、グリーンコープとして理事会として、取り扱わないと決めただろう。



6月4日、グリーンコープ生協ふくおかの通常総代会を開催しました。2024年度の活動や決算の報告、今年度進めていくことの提案をおこない、総代の審議を経て、可決されました。また、福祉活動組合員基金運用報告やグリーンコープミルク工場などの現状報告、託送料金訴訟の上告について、特別報告をおこないました。それらの中で出た質疑応答や出された意見の内容を、要約してお伝えします。

脱原発運動・託送料金訴訟について

【総代A】グリーンコープは脱原発を打ち出し、託送料金の裁判まで提訴している。脱原発は取り組むべき最優先の課題だと思う。活動報告に脱原発の報告が載っていない。

A 坂本理事長

ふくおか独自として具体的にしたものがなく、今回活動報告に入れていない。しかし北九州や福岡の脱原発の集会など組合員に参加呼びかけを発信し、参加している。東京の代々木公園でも毎年原発反対の集会があるが、そちらにも理事や支部から参加し、他の団体と一緒にデモ行進などもおこなっている。脱原発運動は他と一緒におこなっている。いのちとくらしの委員会が脱原発運動を進めており、委員会報告で学習会に取り組んだ項目がある。ふくおかとしてだけでなく、委員会、他の方たちと一緒になど、いろんな形でこれからも進めていきたい。

【総代B】脱原発に向かって訴訟を起こすことで、これまでのようになかなか傍聴に行けなくなる。全国的にこの運動が広がっているのか、最高裁ではどのような市民運動ができるのかお聞きしたい。

A 棚町常務

書面審査になり裁判陳述がない。3月10日に上告、5月2日上告理由書を提出している。これからいろんな審査があるだろうが、判決に約半年から1年を要す、と言われている。その間注目されている内容だということを、いろんなところで発信し裁判官、最高裁の方も含めて社会に知らしめることをやっていきたいと考えている。勉強会など地域でおこなうことを相談している。

人材確保について

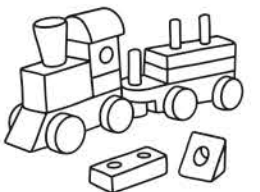
【総代G】職員、ワーカーの人材確保の取り組みについてお尋ねしたい。生協に良い方が来て長く働いてくれたらと思う。組合員の活動もワーカー、職員あつてのことだ。人手、人材が足りているのか。ワーカーズハローワークなどの取り組みや、新規人材の確保として何か取り組んでいることがあれば教えてほしい。確保した人材の定着率の増加や離職率の低下、平均勤続年数を上げるなど、そういう取り組みがあれば教えていただきたい。

A 富田代表（ふくおかワーカーズ常勤会）

ワーカー入職の定着率については、今は数字を押さえていない。入職して1、2ヶ月で辞める方が多い。3カ月ぐらいは現ワーカーと一緒にトラックに乗って仕事を教え、それを終えるとそのまま働く形になる。2024年度はグリーンコープ生協ふくおかの強化に、公募代として約900万弱のお金をお願いしている状況がある。公募で入職しているワーカーもいるが、ここ1、2ヶ月とても厳しい状況になっている。賞与を均一化しバラして時給自体を上げる工夫をしているところもある。掲載する時給が高くなるので、いい反応が返ってきている状況。共同購入はかなり工夫をして、とにかく人を入れることを第一優先で日々取り組んでいる。やる気があり頑張ろうと思われる方で身体さえ元気であれば、どなたでもまずは試してみてくださいと声かけをし、来られた方全員雇用という形も引き続きやっている状況だ。

A 棚町常務

職員は一般公募の求人を出していたが、これまでのような応募がない。数年前からリファラル採用で、身内の方や友達を紹介くださいという取り組みをしている。一昨年から新卒の求人を出した。アルバイトの登用もしている。6月末に7、8名の応募があり、面接をして採用を進めている。



お店について

【総代E】ふくつ店について、地域交流スペースの木質化を目指して木の玩具を設置していきますとある。昨年ふくつ店の経営委員会に参加した。無料開放するおもちゃ美術館を2階に作ることで、2000万円以上の工賃がかかるとおもちゃ美術館の館長が言われた。経営委員会では、他店舗に子どもが遊べるスペースがあるが、そんなに来客に影響がないという話を聞き、ふくつ店の2階におもちゃ美術館をすることは、反対多数で作らないとなった。私たちが知らない間に勝手に決められないか不安だ。ワーカーがお店は組合員のものであった。一部の限られた人たちだけで勝手に決めるのではなく、そこに関係ある組合員全員に周知し、賛否を聞いてから行動してほしい。牛乳やE.V車導入の件もだが、組合員主権を念頭において、組合員があずかり知らないところで勝手に物事が決まっていけないようにしてほしい。

A 中村地域理事長

ふくつ店は、昨年11月にオープンするまで長い期間をかけて検討し、おもちゃ美術館の館長とグリーンコープが木育を進める中で、ぜひふくつ店で木育を進めてはどうかという提案をいただいた。組合員としては千鳥、福岡店の長年の赤字を解消するためのふくつ店の新しい建設に、そのようなお金をかけることになり意見をいただいた。おもちゃ美術館も見学し木育の素晴らしさも分かった上で、一旦はおもちゃ美術館のような2階にはしないという方向性で考えた。木育を進めることは全体の方針。2階に福岡県の補助金を利用し、後々は木育キットや木のおもちゃを入れるところまでの検討になっている。経営委員会は一旦皆さんの確認のもとで終了している。2階の使い方についてはまだ検討が必要で、決して一部の人のみで決定しているものではない。支店理事長、事務局長、地域理事長、ワーカーと一緒に検討している。この意見も支部のメンバーの意見も、いつも必ず頭に入れて考えていることをお伝えしたい。

カーボンニュートラル・EV車などについて

【総代A】ガソリントラック890台の全てをEV車に切り替えるという方針が出された。2022年6月の総代会特別報告では890台だったが、3ヶ月後の臨時総代会の時は300台追加され1190台になり、それが1300台に増えていた。総代会で採決された事実があつたのか。

A 棚町常務

当初から全ての車両をEV車に考えていた。そのことを最初の提案で表現ができていなかったことは本当に申し訳ない。説明資料やアンケートの際に、軽バンの車両も含め1300台を変えていくことは告知している。2023年6月の臨時総代会で「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるように、グリーンコープはカーボンニュートラルに取り組めます」として、この運動に参加する人を増やしていくことを総代に諮り賛成いただいた。総代会を開き890台を1300台でもう一回検討すべきではないかというご意見をいただいたが、それを前提に2023年の6月の総代会でご了解いただいていると考えているので、改めて臨時総代会等を開くことは現在考えていない。

【総代B】地球環境が汚れていることは承知しているが、それにお金はかからないと思う。地域総代会で「お金を何に使うつもりなのか」と聞くと「EV車に使う」とのことだった。ワーカーはその話し合いに入っていないから知らないと言われた。EV車は中国産で、運転しにくいと言われた。本当に話し合いをして来られたのかと思う。ドライアイスをやめて違うものに、それにも使われるだろう。カーボンニュートラルを調べた。CO₂削減のためにそれぞれ企業が努力すること、自治体が努力すること、国民一人一人が努力すると書かれていた。CO₂を削減するためにはどう行動すればいいかという提案ならわかる。結局EV車があり、最終的には電気をどのように作っていくのかも含める。国は原発再稼働を認めた。電気は再生エネルギーも同じ電線を使っている。CO₂を削減するのはいいが、その先はどのように考えているのか。私たちは何をしないといけないかを提案すべきだと思う。EV車に切り替えること以外に方針を持たれているのか。

A 棚町常務

中国製のEV車が使いにくいという意見。現在一部中国製のEV車を入れている。荷台の高さが今のガソリン車より少し高く、大きなステップがついている。この車が使やすいという職員もあり、車種は現場の人たちが選んでいる。決して「この車に乗るように」と本部から押し付けていないのでご理解いただきたい。

A 富田代表（ふくおかワーカーズ常勤会）

ワーカーがEV車で配達をしているが、事前にEV車の導入について、媒介、共有している。EV車の種類で提案があり、支部別にどの車を入れるか検討し選択している。

A 坂本理事長

EV車以外では、ドライアイスを削減していくことに取り組み、今はそれができるようにになっている。CO₂吸収では、エコシュリンプの池の周りにマングローブの植林をしている。マングローブはCO₂の吸収量がとても多く、植えることでCO₂吸収に取り組める。植林すると木陰ができ、それで水の温度を下げていく。そうすることでエビが生活しやすくなり、カーボンニュートラルだけではなく生産者を守ることにもつながっている。個人的に何ができるかの提案は、まだできていないと思う。皆さんの方が、節電などいろいろな取り組みをしていると思うので、ぜひ情報を教えていただき、組合員の声として「皆さんも一緒にやりませんか？」と呼びかけてご協力いただき、また発信をしていきたい。

【総代C】カーボンニュートラル推進で決定権を持っているのは、ふくおか理事会を含んだ共同体になるのか。決定した組織にふくおかから何名参加しているか気になる。マーケティング会社へのCMの契約や、イベント開催などで多額なお金がかかっていると思うが、共同体などでまとめて支払いをしているのか。マーケティング会社は経験で「このように進めれば」など提案すると思うが、組合員は利益重視ではなく思いで進めている。組合員の思いがどれくらい反映されているのか不透明な気がする。広告会社も組合員の前で説明する必要があるのではと思う。

A 坂本理事長

共同体理事会で、グリーンコープで取り組んでいかないかと提案があり、ふくおか理事会で提案として扱い、総代会で理事会からまとめて提案している。最終的にカーボンニュートラルで進むこと、組合員も財源を拠出していくことに関しては、総代会で決定いただいている。その時も反対の意見はたくさんあつたが、最終的には賛成票が過半数を超え、ふくおかの総代会として進んでいくことを総代に決めていただいた。決定する場合は総代会だ。私たち理事会はそれに沿ってきちんと進めていく。賛成する人が拠出するとなつたが、決定後「理事会は何もしていない。その間にお金が貯まったのではないか」という意見もあつた。それを受けて独自に、毎月カンパに取り組んでいる。総代の声も聞き、きちんと執行し運営していくことは、理事会の責任だと思っている。7月の共同購入分から1%の拠出も始まる。それに向けてもう少しの間、カンパにも取り組んでいく。そこから先は皆さんが、賛同された方は1%拠出、お店やキープ&ショップなどでも拠出いただく。そのように広がっていく取り組みに変えていきたいと思う。

<左下より続き>

A 西岡専務

CMとマーケティング等について、大きなお金がかかるのではないかというご意見。カーボンニュートラルの運動を進めるにあたり、コンサルをお願いしているということはない。CM制作やインターネットの広告、離乳食も含めて、広告代理店などと一緒にやっていることはある。CMやホームページ制作は、グリーンコープ共同体の予算で作成をしている。CMの作成は全体で行い、福岡県でどれくらい流すのかについては、グリーンコープ生協ふくおかの理事会で判断決定している。

【総代D】地下街や商業施設で停電が発生した。電気系統のリスクが隠れていることが露わになった。高層ビルの地下の駐車場にはEV車を駐車してはいけないという条例がドイツで成立された。カリフォルニアではEV車が発火した際に、通常の倍以上の水で消火活動を行わなければならないことがわかった。EV車が発火した際は、消えるまで何もしないことが得策だとなっている。老化したバッテリーは産廃物で地中に埋めるしかない。そうすると新たな環境問題を生む。

A 棚町常務

火災になる発生率は、ガソリン車と比較するとEV車の方が少ないという統計がある。EV車が素晴らしいということでは決まていないと私は思っている。今後、技術革新が進むと思うが、EV車にこだわらずカーボンニュートラルにふさわしい車両があれば、その導入も当然考えていきたい。バッテリーを地中に埋めるという話、この処理の仕方は本当にずさんでひどいと思う。福岡県がGBネットワーク福岡というものを立ち上げ、乗り終えたEV車のバッテリーを診断して再利用できるものはリサイクルする取り組みと一緒に検討している。我々もあと5〜6年すれば考えていくことになる。使い終わった車のバッテリーには、まだ使えるものがある。それを集合体にして、蓄電池用に使うという技術がある。取り出したEV車のバッテリーを蓄電池にし、太陽光で発電した電気をバッテリーに貯め、街灯に利用する試みが始まる。2030年の頃にはそれを商用化して、例えば店舗のソーラーで発電されたものを貯めて使っていくこともあるようだ。九州は太陽光の発電量が多いと言われ、昼間は買取りができないくらい発電している。バッテリーの再利用で蓄電池に貯めて夜間に使うことが開発されれば、電源構成も見直しをしていくことにつながると思う。これからも研究して、総代会でもぜひご報告させていただきたいと思う。

【総代E】バッテリー電池の材料のコバルトを採集するのに、貧しい地域の子どもたちが労働を強いられている現実がある。このことをグリーンコープはどう思っているのか。

A 西岡専務

以前同様の意見をいただいた。コバルトに限らずレアメタルやレアアースと言われるものは、児童労働により採掘をされているものが多いと言われており、本当にそれは良くないと思うが、それらはEV車だけでなく、スマホやパソコンなどにも使われている。EV車の導入をすることで、児童労働の問題解決に向かうということではないと考えている。本質的にグリーンコープとしてどのように向き合っていけるかは都度検討していきたい。

【総代F】世界規模でお金が動いたりするときには陰謀があると思う。生協がたぐさなお金を使うことに引っかかってほしくない。世界情勢をしっかりと見極める目を持っていただきたい。

A 坂本理事長

グリーンコープのことが心配でいただいたお言葉かなと思う。きちんとご意見を受け取って考えながら、これからも皆さんと一緒に進めていきたいと思う。

【総代A】棚町さんは総代会で承認されたと言われ、坂本理事長は総代会で決まったことを実行すると言われている。しかし2023年度の臨時総代会の中にカーボンニュートラルのことは取り組むとは書いてあるが、車の台数は書かれていない。予算も書いてなければ財源をどうするか書いてないものが提案したと言えるのか。臨時総代会では、コストが全部書いてあつた。コストはEV車、充電設備も含めて13億とあつた。2022年度の提案は継続審議になっている。具体的に採択されていないのに、EV車が増えていくのは不信感が増す。

A 棚町常務



予算は13億数千万と言われていたという意見。最初12億〜13億だったが現在は12億4千万円くらいで試算をしている。いろんな補助金額の変更や新しく安価な車が出るなど、そういうことがこの3年でもあつた。当時、予算がこれくらいかかるという費用面について、どのように拠出しているのかは説明をしていた。



産直たまごのおいしさには理由があるって伝えなきゃ!!

グリーンコープ連合会 畜産本部
畜産部長 谷口 雄亮 氏を
講師に迎え、お話を伺いました。

学習会感想



飼料にもこだわり、育てられたグリーンコープのたまごを、これからも利用していこうと思った。



夏場は鶏が餌を食べなくなるのでたまごが小さくなりますが、利用していこう。



鶏舎の様子
がわかり、
安心なたま
ごを食べられて嬉しい。



定期的に学習することで、グリーンコープのこだわりや安全性を再確認できる機会となった。



安心・安全な産直たまご

国産のエサを98%使用しているたまごは、国内どこにもありません



め元気いっぱい産直たまご



め国産穀物を使った産直たまご



め平飼い産直たまご

開放型鶏舎

透光・通風の良い
ケージでゆったりと飼育。



低温流通

出荷から
配達まで一貫した
低温流通で
鮮度を保ちます。

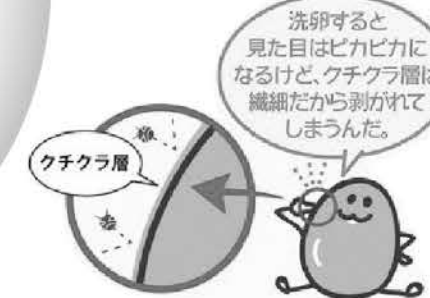
飼料

遺伝子組み換えでない
ものにこだわっています。
遺伝子組み換えされた
ものが混入しないように、
生産から流通まで適切に
分別管理したものを使用。
国産飼料米を配合。

無洗卵

生まれたてのたまごは
クチクラ層というタンパク質の
膜で覆われていて、細菌が
たまごに入るのを防いでいます。

だからグリーンコープは
たまごの品質を守るため、
洗わずにお届け。
生産者が常に鶏舎の清掃を心がけ、
たまごが汚れないよう気を
配っているからできること。



モールドパック

容器はたまごと
環境を守るモールドパック
(紙100%)!
通気性や保水性に優れ、
たまごを新鮮に保ちます。
使用後は回収し、
たまごのトレーなどの
紙製品にリサイクル。

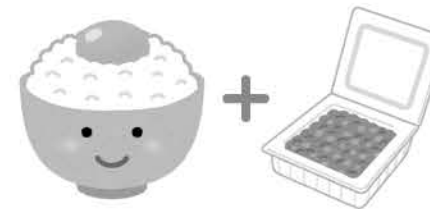


一生涯、
平飼いです

たまごは栄養満点食品

良質なたんぱく質をはじめ、ビタミン類・
亜鉛・カルシウム・リン・鉄などのミネラル類が豊富

唯一摂れない栄養素は食物繊維と
ビタミンC。卵かけごはんを食べ
る時に納豆を組み合わせると栄養
バランスとして優れています。



みなさんが食べているたまごは、どんな場所で、
どんなふうに育まれているかご存知ですか?
グリーンコープの産直たまごは、健康に育てら
れた母鶏が産んだ、元気なたまごです。自然に寄
り添った飼育と、こだわりの飼料で大切に育てら
れています。
今回は、そんな産直たまごの魅力をご紹介します。

産直たまごを使ったおすすめ商品

フライ済みなので、
レンジであたためてお弁当に!
カレーの風味が食欲をそそります。

めスパイシーササミカツ

180g (6~8枚)

378円 (税込 408.24円) 京築支部 林田



冷凍とり天を使えば
簡単天むすの出来上がり!

めとり天

200g

420円 (税込 453.60円) 宗像支部 小鉢



広報委員のおすすめレシピ

茶わん蒸し (4人分)

【材料】

元気いっぱい産直たまご… 2個
産直若鶏小間切 …… 100g
ちくわ …… 1本
冷凍枝豆 …… 適量
国産ビーボイルホタテ … 4個
下処理済エコシュリンプ …… 4尾 (塩ゆでする)
A 京風仕立て白だし… 大さじ2
水 …… 300ml

【作り方】

- ①たまごを溶きAをまぜあわせて卵液を作る
- ②若鶏小間切、輪切りにしたちくわ、ほたて貝を入れた耐熱容器に卵液をザルでこしながら入れる
- ③蒸し器で蒸して、竹串を刺して透明なだし汁が出たら火を消す
- ④ゆでたエコシュリンプと枝豆をのせてできあがり。

【おすすめポイント】

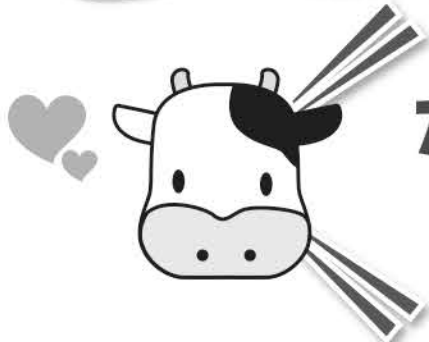
茶碗蒸しを手軽に卵と白だしで作れます。好みの具材を入れてね!!
折尾若松支部 吉田





びん牛乳deアレンジ おすすめ商品

グリーンコープの新しいびん牛乳、そのおいしさをさらに引き立てる商品を厳選してご紹介！自然の恵みたっぷりのびん牛乳と相性ぴったりの一品が、きっと見つかります。朝食やおやつの時間が、ちょっと特別になるような組み合わせをぜひお楽しみください。



カタログGREEN 25号で掲載!!

(8月25日週配布) **注文できます**



のマークがついた商品は、びん牛乳(自由注文のみ)と一緒に注文すると3%OFFになります。
※3%OFFは25号に限る。(わが家風カフェミルクは除く)



み フルーツミックスグリーンスムージー



大麦若葉やケール、セロリなど子どもが苦手な野菜も入っているのに美味しく栄養補給ができ、冷たい牛乳に溶かすだけのお手軽ドリンクは、我が家の忙しい朝に必須の商品です。

360円(税込388.80円)
24.5g(3.5g×7包)

久留米支部理事長 山本 幸子

み 牛乳deぷるりん(いよかん)

冷たい牛乳と混ぜるだけで、簡単に美味しいおやつが完成です！いよかんのジューシーな果肉と柑橘の甘酸っぱさで、子どもだけでなく大人にもおすすめです。



小倉北支部理事長 丸田 邦子

242円(税込261.36円)
150g

みんなでつくるマスコバド糖ココア



原材料は、ココアパウダー・マスコバド糖・ゲランドの塩のみ、素材の味を楽しめますよ。牛乳を注ぐだけで、簡単美味しいやさしい甘さのココアができます。

718円(税込775.44円)
180g

京築支部理事長 南方 利枝

み ミルクプリンの素



温めた牛乳350mlに1袋溶かして数時間冷やすだけ！簡単なので、我が家では娘が率先して作ってくれます。優しい甘さで、家族みんなで楽しめておすすめです。

175円(税込189.00円)
48g

福岡西支部理事長 牧野 登志江

み 飲む大豆パウダー (オレイン酸が多い国産大豆使用)



オレイン酸が多い国産大豆を使用し、安心して利用でき水でも牛乳でも溶けやすくなっています。お味噌汁に入れても大変風味が良く、手軽に植物性たんぱく質も摂取できます。

973円(税込1050.84円)
200g

北分身福祉委員長 安田 美穂

やさしい玄米フレークほんのりりんご



牛乳と一緒に、朝食やおやつにととても良い商品です。サクサクとした食感で、少し甘みがあっておいしいです。チャックシール付きで好きな分だけ食べられます！



八幡西支部理事長 蓮池 未奈

375円(税込405.00円)
120g

み 有機ほうじ茶ティーバッグ



入眠前にほっと一息できるほうじ茶ラテ。深めのグラスにティーバッグを落とし、冷たいまま牛乳を注いでください。ほうじ茶が香ばしく、絶妙なマリージュ！

583円(税込629.64円)
75g(2.5g×30袋)

福岡地域理事長 大坪 亜野子

じゃがいもフレーク



牛乳、玉ねぎ、チキンコンソメがあれば簡単にピシソワーズができます！他にも、マッシュポテトやグラタン、いももちなど、家族の好きなメニューが手軽に作れるので、いつもストックしています。

695円(税込750.60円)
60g

広報委員長 安達 由久子

Babygreenカタログからは、毎週注文できます！

9100


ホッ
 ひと言

今春、息子が高校生になりました。毎日のお弁当作が私の日課です。写真を残しているのです。毎日、ほぼ一箱の見た目、それewith「おいしかった」や当箱を出してくる息子と、グリーンコープ食材に毎日感謝です。

八幡西支部

住んでる街を住みたい街に
ありがとう100円

福祉活動組合員基金
今回助成が決まった団体&2024年度収支報告

福祉活動組合員基金（100円基金）は、参加型地域福祉をすすめるために、組合員が毎月100円ずつ出合っています。この基金は、各地域から選出された委員で構成された基金運用委員会で、申請いただいた団体と面談をおこない助成決定します。

助成金は、グリーンコープの福祉活動や地域で福祉の活動をされている団体で有意義に活用されます。

＜北九州地域基金運用委員会 6月2日開催＞

団体名（活動エリア）	活動内容	使 途	助成額
けいちくトイロ（行橋市）	学校外で学び有つ子どもとその家族が孤立せず、自分らしく生きられる地域社会の実現を目指した活動。保護者の交流や居場所事業、個別相談の他、行政や地域との連携も行う。	活動およびNPO法人化のための物品の購入費、印刷費および広告宣伝費等	(円) 200,000
子ども食堂ランウェイ（北九州市八幡西区）	＜八っちゃん家＞から独立した少人数の登録制の子ども食堂。ボランティアとごはんを食べ、勉強し、安心してすごすことができる居場所。さまざまな体験活動も取り入れている。	学習支援に必要な教材費、学生ボランティアの交通費等	200,000

＜中部地域基金運用委員会 6月2日開催＞

団体名（活動エリア）	活動内容	使 途	助成額
宗像地区成年後見研究会（宗像市、福津市、古賀市、宮若市）	認知・判断力の低下した高齢者・障がい者を支援する講座を実施。25年度は育成研修修了者へのフォローアップ研修会を計画。NPO法人を目指し、成年後見センターの整備も進めている。	講座、講演会の講師報酬、交通費・相談会の相談員報酬、交通費等	(円) 200,000
認知症の人と家族の会 直方（直方市）	認知症に関する正しい知識の普及及び理解の推進、認知症の人と家族に対する相談・支援等を行う。元気になる（居場所）認知症カフェ＜さる～んのおがた＞では、多くの人に喜ばれている。	講師謝礼金・講師交通費・消耗品費・会報水仙、チラシの印刷費等	200,000

＜福岡地域基金運用委員会 6月2日開催＞

団体名（活動エリア）	活動内容	使 途	助成額
風ふく丘ファースト（福岡市）	個人や学校、福祉作業所から依頼を受け、知的・発達障がいのある方の見守り、授業・作業の補助を行う。障がいのある方とヘルマンハープを使い高齢者施設などで活動も始めた。	交通費の補助	(円) 200,000
若年性認知症カフェ「なんばく」（福岡市及び周辺市町村）	若年性認知症（65歳未満に発症した人）に特化したカフェを運営。月1回、当事者と家族、ボランティアスタッフが集いお喋りしながら元気を取り戻す居場所となっている。	南博ホールの年間使用料、ボランティアスタッフの交通費、年間行事の経費	190,000

＜南地域基金運用委員会 6月2日開催＞

団体名（活動エリア）	活動内容	使 途	助成額
花とみどりの会（久留米市三瀬町）	地域の憩いの場づくりを目的に活動。発足当初より10戸の新しい家が増え、住民が交流する場としても役立っている。住んでいる町が住みたい町と思えるよう活動していく。	作業補助費、交通費、講師料、水道使用のお礼、会議費、物品購入費等	(円) 200,000
一般社団法人子育て応援隊てとて（大川市）	赤ちゃんを授かり初めてのことで不安だらけのママにほっと一息ついてもらう場を提供。ママに寄り添い一緒に考え、赤ちゃんを感じる力がつくよう親子まるごとサポート活動を行う。	赤ちゃん和妈妈のための「はじめのいっぽセミナー」事業のスタッフ手当	200,000

助成団体より

北九州

子ども食堂ランウェイ（北九州市八幡西区）

「ただいま～」と玄関を開けた子ども達は、まずはご飯を食べ、宿題や勉強をして、みんなでおしゃべりしたり、ボードゲーム等で盛り上がります。まるで親戚の集まりのような小さな居場所です。みんなでお出かけして、ワクワク体験も楽しんでいます。

中部

宗像地区成年後見研究会（宗像市、福津市、古賀市、宮若市）

市民後見人

認知・判断力の不十分な高齢者・障がい者の方を支援する講座や相談会を実施しています。25年度は育成研修修了者へのフォローアップ研修も実施。NPO法人設立準備中で、成年後見・遺言・相続・終活等で地域後見を目指しています。

南

一般社団法人 子育て応援隊てとて（大川市）

大川市で乳児とママのための講座を開いています。あやし歌・乳児マッサージ・子守歌を体験しながら産後の身体の変化や家族の協力などぶっちゃけトークの場になっています。栄養士監修の手作りおやつタイムもあります。

基金運用委員感想

福岡

風ふく丘ファースト（福岡市）

知的・発達障がいのある方の支援を幅広くしています。また、学校や高齢者施設などでバリアフリーな楽器ヘルマンハープを紹介し、いっしょに演奏を楽しんでいるそうです。ヘルマンハープの美しい音色にとっても興味が湧き弾いてみたいと思いました。

（福岡地域基金運用委員 立石 恵美）

2024年度 一般財団法人グリーンコープ生協ふくおか 福祉活動組合員基金収支報告 2024. 4. 1～2025. 3.31			
(単位：円)			
収入	福祉活動組合員基金収入	136,369,700	
	福祉活動組合員基金拠出額		
融資返済金	融資返済金	15,494,400	
	融資先からの返済額		
助成金返金	助成金返金	44,000	
	2団体からの返還		
助成金預り金	助成金預り金	0	
	助成金分割支払預り金		
助成金返金等合計		44,000	
合 計		151,908,100	
支出	助 成 金	156,196,640	
	助成交付金		
助成金内訳①	助成金内訳①	154,455,644	
	全体・地域基金運用委員会助成金		
助成金内訳②	助成金内訳②	0	
	融資		
助成金内訳③	助成金内訳③	1,740,996	
	助成金預り金支払		
預り金支払内訳①	預り金支払内訳①	1,740,996	
	キラリひろばハウス購入費（残12,622,261円）		
経 費 関 係	経 費 関 係		
	運用委員・評議員・監査員手当	1,036,000	
委員会 交通費	委員会 交通費	447,626	
	委員会 会場費	471,579	
広報費（チラシ印刷）	広報費（チラシ印刷）	0	
	通信費（切手代他）	194,588	
雑費（振込手数料、両替手数料、その他）	雑費（振込手数料、両替手数料、その他）	71,976	
	租税公課（法人市民税他）	60,000	
経費関係合計		2,281,769	
合 計		158,478,409	
当 期 収 支		△ 6,570,309	
前 期 繰 越		526,571,337	
次 期 繰 越		520,001,028	